

資料 4

長野市産業団地事業経営戦略(令和 3 年度～令和 12 年度)

令和 3 年度の進捗状況

令和 5 年 3 月

商工観光部商工労働課

1 経営目標達成に向けた令和 3 年度の主な取組状況

長野市産業団地事業経営戦略では、事業の持続可能な運営のため、産業団地事業の将来的な在り方を展望し、「投資」と「財政」の両面の経営目標を定めています。その経営目標達成に向けた令和 3 年度に実施した主な取組は以下のとおりです。

(1) 売却目標

目標	①貸付特約付土地：計画期間中に期間満了となる 2 区画は、満期をもって売却します。 ②未 分 譲 区 画：地価変動に伴う経営悪化が与える財政リスクに注意しつつ、適切な管理をし、売却できるものについては、早期に売却を目指します。
主な取組状況	①貸付特約付土地については、期間満了により、第二東部工業団地の 1 区画を令和 3 年 10 月に売却しました。残り 1 区画についても、令和 4 年 4 月に売却しました。 ②未分譲区画については、東鶴賀産業用地の 1 区画を令和 3 年 6 月に売却しました。

(2) 収支目標

目標	経常収支比率 100%以上の継続と売却損失の抑制
主な取組状況	令和 3 年度の経常収支比率は、128.2%でした。 また、令和 3 年度の用地売上収益は 217,940 千円、用地売上原価が 186,606 千円で、31,334 千円の黒字になりました。

2 財政収支・経営指標の状況

(1) 財政収支

(単位 千円)

項目		R3	
		計画	実績
収益的収入		438,500	251,543
収益的支出		386,574	194,845
経常損益		51,926	56,698
資本的収入		54,000	0
	他会計借入金	54,000	0
資本的支出		409,999	185,000
	建設改良費	53,999	0
	他会計借入償還金	356,000	185,000

(2) 経営指標の状況

指標	R1	R2	R3
経常収支比率	153.8%	88.9%	128.2%
資金不足比率	-37.49%	-38.66%	-42.36%

経営の健全性を示す経常収支比率は 128.2%となり、前年度から 39.3 ポイント改善しました。

また、事業規模に対する資金の不足額の度合いを示す資金不足比率は、2 区画の用地売却及び当該区画の原価相当額の借入金を償還したことなどから-42.36%となり、経営状況が良好であることを示す負の値となっています。

引き続き、地価変動に伴う経営悪化が与える財政リスク等に注意しつつ、適切な管理に努めます。